

## ■ 推進体制

また、中央安全衛生委員会の下部組織として、健康経営の拡充を目的に「健幸推進協議会」を年4回開催しています。この協議会では健康だけではなく、「幸せ」に働くことを目指し、安全健康推進部を事務局に、産業医・人

事部・健康保険組合・労働組合が一体となって、健康経営・幸福経営活動の協議を行っています。

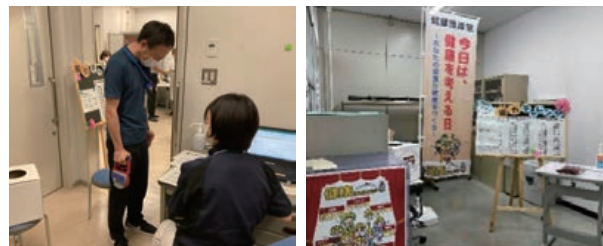
また、協議・決定事項は各事業所の安全衛生委員会へと展開しています。

## ■ 健康経営活動における「健康チャレンジ8」の取り組み

経営理念に掲げる企業の社会的責任を果たすための基盤強化として、従業員一人ひとりが将来にわたって、いきいきと健康に働くことが必要不可欠であるという認識のもと、従業員の健康維持/増進のため、健康経営に取り組んでいます。

健康KPIとして定めている「健康チャレンジ8」(体重・朝食・飲酒・間食・禁煙・運動・睡眠・ストレスの8項目)のうち、ポイントの低い“運動”への取り組みとして、年に1度の健康診断を活用した握力測定イベントを実施。一人ひとり

が“健康を考える日”として筋力の重要性、運動実践などを自分事として考えるための動機づけを行っています。



握力測定の様子

また、65歳までの定年延長を受け、55歳時に実施する“キャリアデザイン研修”にて体力測定と運動習慣に関する教育を実施し、年齢を重ねても元気な体で働くための支援を行っています。



55歳健康教育の様子



これらの活動が評価され、スポーツ庁よりスポーツエールカンパニー2024、経済産業省が推進する健康経営優良法人の認定を受けました。

<https://www.toyoda-gosei.co.jp/csr/social/report2/#SafetyHealth>



## 地域社会貢献

当社グループでは経営理念にある「良き企業市民」であるべく、地域社会に根ざし地域とともに成長する企業として「社会福祉」「環境保全」「青少年育成」「地域防犯」の4つの柱で従業員による社会貢献の取り組みを世界

各地で積極的に行っています。

今後も社内で社会貢献活動への参加機会を増やすとともに、地域のためになる活動を推進していきます。



地域子ども食堂への支援



車イスドクターズ



フードドライブ



地元児童養護施設への寄贈  
(豊田合成南アフリカ(株))